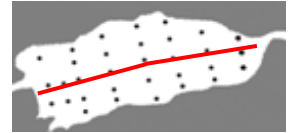


2024年7月 宍道湖 塩分・溶存酸素

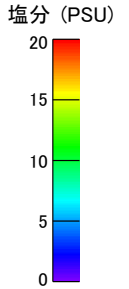
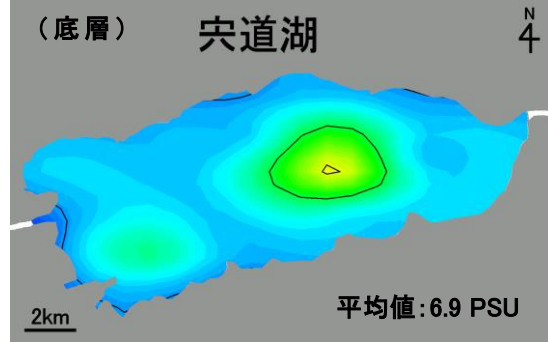
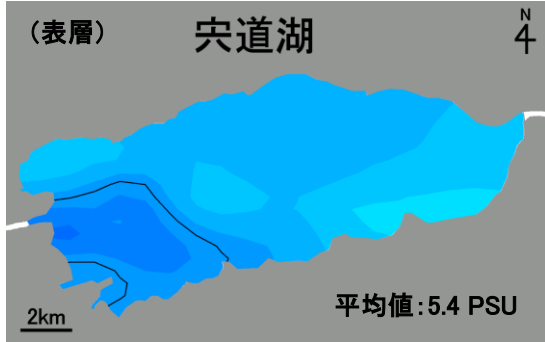
水域	調査日	天候	海況	水温 (表層平均)
宍道湖	2024年7月2日	曇り時々雨	西 1 m/秒 → 西 3 m/秒	26.0 °C

● 調査地点 — 鉛直ライン



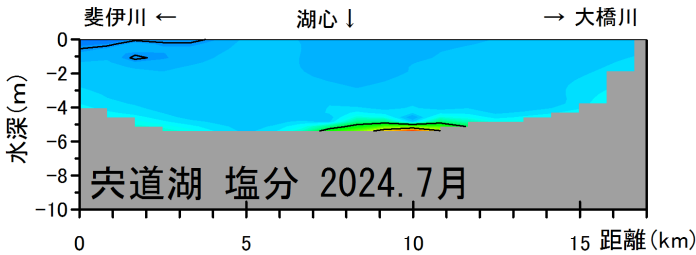
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



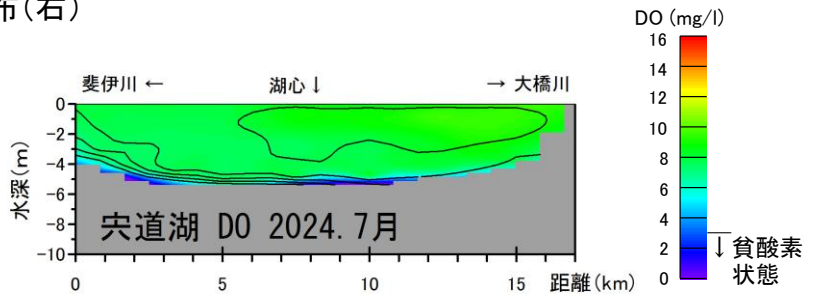
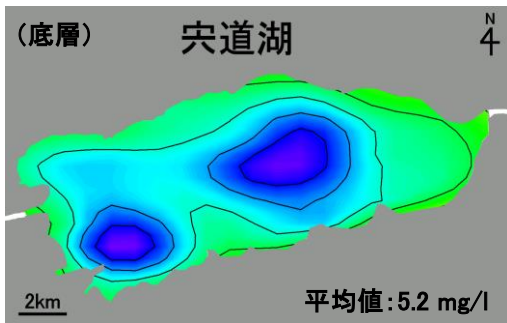
※塩分濃度のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布

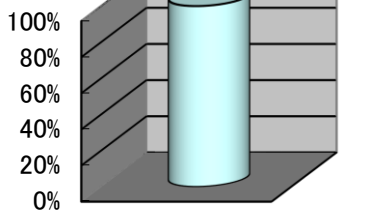


表層塩分の値は、斐伊川河口から沖合 5 km 付近の範囲で低い値を示しました。底層では、湖心より東側 2 km の地点を中心に薄く高塩分水塊がみられました。また、出雲空港沖でも塩分がやや上昇していました。平年値と比較すると、表層・底層ともに平年並みとなりました。〔『R6 年度水質状況』を参照〕。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



宍道湖



■ 貧酸素化した水の体積割合

溶存酸素濃度は、湖心から東側 1 km の地点を中心に、水深 5m 以深で低い値を示しました。また、出雲空港沖でも同様であり、2 地点で貧酸素水塊が発生していました。3mg/l 未満の貧酸素水の体積割合は 0% に近い一方で、貧酸素水が湖底付近にごく薄く残存していたため、湖底面積に占める貧酸素水の割合は 14.2% となりました。

貧酸素水体積割合は、先月から減少し、平年を下回る値となりました〔『R6 年度水質状況』を参照〕。

● R6 年度水質状況

